


小倉百人一首 ①～⑳

- ① あきのたの かりほのいおの とまをあらみ わがころもでは つゆにぬれつつ
- ② はるすぎて なつきにけらし しろたえの ころもほすちよう あまのかぐやま
- ③ あしびきの やまどりのおの しだりおの ながながしよを ひとりかもねん
- ④ たごのうらに うちいでてみれば しろたえの ふじのたかねに ゆきはふりつつ
- ⑤ おくやまに もみじふみわけ なくしかの こえきくときぞ あきはかなしき
- ⑥ かささぎの わたせるはしに おくしもの しろきをみれば よぞふけにける
- ⑦ あまのはら ふりさけみれば かすがる みがさのやまに いでしつきかも
- ⑧ わがいおは みやこのたつみ しかぞすむ よをうじやまと ひとはいうなり
- ⑨ はなのいろは うつりにけりな いたずらに わがみよにふる ながめせしまに
- ⑩ これやこの ゆくもかえるも わかれては しるもしらぬも おうさかのせき
- ⑪ わたのはら やそしまかけて こぎいでぬと ひとにはつげよ あまのつりぶね
- ⑫ あまつかぜ くものかよいじ ふきとじよ おとめのすがた しばしとどめん
- ⑬ つくばねの みねよりおつる みなのがわ こいぞつもりて ふちとなりぬる
- ⑭ みちのくの しのぶもじずり たれゆえに みだれそめにし われならなくに
- ⑮ きみがため はるののにいでて わかなつむ わがころもでに ゆきはふりつつ
- ⑯ たちわかれ いなばのやまの みねにおうる まつとしきかば いまかえりこん
- ⑰ ちはやぶる かみよもきかず たつたがわ からくれないに みずくくるとは
- ⑱ すみのえの きしによるなみ よるさえや ゆめのかよいじ ひとめよくらん
- ⑲ なにわがた みじかきあしの ふしのまも あわでこのよを すぐしてよとや
- ⑳ わびぬれば いまはたおなじ なにわなる みをつくしても わんとぞおもう


小倉百人一首 ⑳～㉑

- ㉑ いまこんと いいしばかりに ながつきの ありあけのつきを まちいでつるかな
- ㉒ ふくからに あきのくさきの しおるれば むべやまかぜを あらしというらん
- ㉓ つきみれば ちぢにものごそ かなしけれ わがみひとつの きにはあらねど
- ㉔ このたびは ぬさもとりあえず たむけやま もみじのにしき かみのまにまに
- ㉕ なにしおわば おうさかやまの さねかずら ひとにしられで くるよしもがな
- ㉖ おぐらやま みねのもみじば ころろあらば いまひとたびの みゆきまたなん
- ㉗ みかのはら わきてながるる いずみかわ いつみきとてか こいしかるらん
- ㉘ やまざとは ふゆぞさびしさ まさりける ひとめもくさも かれぬとおもえば
- ㉙ ころろあてに おらばやおらん はつしもの おきまどわせる しらぎくのはな
- ㉚ ありあけの つれなくみえし わかれより あかつきばかり うきものはなし
- ㉛ あさぼらけ ありあけのつきと みるまでに よしののさとに ふれるしらゆき
- ㉜ やまがわに かぜのかけたる しがらみは ながれもあえぬ もみじなりけり
- ㉝ ひさかたの ひかりのどけき はるのひに しずごころなく はなのちるらん
- ㉞ たれをかも するひとにせん たかさごの まつもむかしの ともならなくに
- ㉟ ひとはいさ ころろもしらず ふるさとは はなぞむかしの かににおいける
- ㊱ なつのよは まだよいながら あけぬるを くものいづこに つきやどるらん
- ㊲ しらつゆに かぜのふきしく あきののは つらぬきとめぬ たまぞちりける
- ㊳ わすらるる みをばおもわず ちかいてし ひとのいのちの おしくもあるかな
- ㊴ あさじうの おののしのはら しのぶれど あまりてなどか ひとのこいしき
- ㊵ しのぶれど いろにいでにけり わがこいは ものやおもうと ひとのとうまで

小倉百人一首 ④①～⑥⑩

- ④① こいすちよう わがなはまだき たちにけり ひとしれずこそ おもいそめしか
- ④② ちぎりきな かたみにそでを しぼりつつ すえのまつやま なみこさじとは
- ④③ あいみての のちのころに くらぶれば むかしはものを おもわざりけり
- ④④ あうことの たえてしなくは なかなかに ひとをもみをも うらみざらまし
- ④⑤ あわれとも いうべきひとは おもおえで みのいたずらに なりぬべきかな
- ④⑥ ゆらのとを わたるふなびと かじをたえ ゆくえもしらぬ こいのみちかな
- ④⑦ やえむぐら しげれるやどの さびしきに ひとこそみえね あきはきにけり
- ④⑧ かぜをいたみ いわうつなみ おのれのみ くだけてものを おもうころかな
- ④⑨ みかきもり えじのたくひの よるはもえ ひるはきえつつ ものをこそおもえ
- ⑤⑩ きみがため おしからざりし いのちさえ ながくもがなと おもいけるかな
- ⑤① かくとだに えやはいぶきの さしもぐさ さしもしらじな もゆるおもいを
- ⑤② あけぬれば くるるものとは しりながら なおうらめしき あさぼらけかな
- ⑤③ なげきつつ ひとりねるよの あくるまは いかひさしき ものとかはしる
- ⑤④ わすれじの ゆくすえまでは かたければ きょうをかぎりの いのちともがな
- ⑤⑤ たきのおとは たえてひさしく なりぬれど なこそながれて なおきこえけれ
- ⑤⑥ あらざらん このよのほかの おもいでに いまひとたびの あうこともがな
- ⑤⑦ めぐりあいて みしやそれとも わかぬまに くもがくれにし よわのつきかな
- ⑤⑧ ありまやま いなのささはら かぜふけば いでそよひとを わすれやはする
- ⑤⑨ やすらわで ねなましものを さよふけて かたぶくまでの つきをみしかな
- ⑥⑩ おおえやま いくののみちの とおければ まだふみもみず あまのはしだて

小倉百人一首 ⑥1~⑧0

- ⑥1 いにしへの ならのみやこの やえざくら きょうこのえに においぬるかな
- ⑥2 よをこめて とりのそらねは はかるとも よにおうさかの せきはゆるさじ
- ⑥3 いまはただ おもいたえなん とばかりを ひとつてならで いうよしもがな
- ⑥4 あさぼらけ うじのかわぎり たえだえに あらわれわたる せぜのあじろぎ
- ⑥5 うらみわび ほさぬそでだに あるものを こいにくちなん なこそおしけれ
- ⑥6 もろともに あわれとおもえ やまざくら はなよりほかに するひともなし
- ⑥7 はるのよの ゆめばかりなる たまくらに かいなくたたん なこそおしけれ
- ⑥8 こころにも あらでうきよに ながらえば こいしかるべき よわのつきかな
- ⑥9 あらしふく みむろのやまの もみじばは たつたのかわの にしきなりけり
- ⑦0 さびしさに やどをたちいで ながむれば いずこもおなじ あきのゆうぐれ
- ⑦1 ゆうされば かどたのいなば おとずれて あしのまるやに あきかぜぞふく
- ⑦2 おとにきく たかしのはまの あだなみは かけじやそでの ぬれもこそすれ
- ⑦3 たかさごの おのえのさくら さきにけり とやまのかすみ たたずもあらなん
- ⑦4 うかりける ひとをはつせの やまおろしよ はげしかれとは いのらぬものを
- ⑦5 ちぎりおきし させもがつゆを いのちにて あわれことしの あきもいぬめり
- ⑦6 わたのはら こぎいでてみれば ひさかたの くもいにまごう おきつしらなみ
- ⑦7 せをはやみ いわにせかるる たきがわの われてもすえに あわんとぞおもう
- ⑦8 あわじしま かようちどりの なくこえに いくよねざめぬ すまのせきもり
- ⑦9 あきかぜに たなびくもの たえまより もえいずるつき かげのさやけさ
- ⑧0 ながからん こころもしらず くらかみの みだれてけさは ものをこそおもえ

小倉百人一首 ⑧1~⑩0

- ⑧1 ほととぎす なきつるかたを ながむれば ただありあけの つきぞのこれる
- ⑧2 おもいわび さてもいのちは あるものを うきにたえぬは なみだなりけり
- ⑧3 よのなかよ みちこそなけれ おもいいる やまのおくにも しかぞなくなる
- ⑧4 ながらえば またこのごろや しのばれん うしとみしよぞ いまはこいしき
- ⑧5 よもすから ものおもうころは あげやらぬ ねやのひまさえ つれなかりけり
- ⑧6 なげけとて つきやはものを おもわする かこちがおなる わがなみだかな
- ⑧7 むらさめの つゆもまだひぬ まぎのはに きりたちのぼる あきのゆうぐれ
- ⑧8 なにわえの あしのかりねの ひとよゆえ みをつくしてや こいわたるべき
- ⑧9 たまのおよ たえなばたえね ながらえば しのぶることの よわりもぞする
- ⑨0 みせばやな おじまのあまの そでだにも ぬれにぞぬれし いろはかわらず
- ⑨1 きりぎりす なくやしもよの さむしるに ころもかたしき ひとりかもねん
- ⑨2 わがそでは しおひにみえぬ おきのいしの ひとこそしらね かわくまもなし
- ⑨3 よのなかは つねにもがもな なぎさこぐ あまのおぶねの つなでかなしも
- ⑨4 みよしのの やまのあきかぜ さよふけて ふるさとさむく ころもうつなり
- ⑨5 おおけなく うきよのたみに おおうかな わがたつそまに すみぞめのそで
- ⑨6 はなさそう あらしのにわの ゆきならで ふりゆくものは わがみなりけり
- ⑨7 こぬひとを まつほのうらの ゆうなぎに やくやもしおの みもこがれつつ
- ⑨8 かぜそよぐ ならのおがわの ゆうぐれは みそぎぞなつの しるしなりける
- ⑨9 ひともおし ひともうらめし あじきなく よをおもうゆえに ものおもうみは
- ⑩0 ももしきや ふるきのきばの しのぶにも なおあまりある むかしなりけり